



右頁/天竜川流域に広がる天竜の杉丸太。昔から良質の木材として愛用され、目が詰まった木肌の美しさで知られる。なかでも丸八製材所の天竜杉は、均質に刻まれた年輪が下草を刈り間伐を行い、長年の間、丁寧に育てられたことを物語っている

左上/ダイニングからキッチンを見る。キッチンの白い戸棚が空間のアクセントに。目に見えない構造材から壁や床、家具まで、すべて天竜杉の無垢材を使用。テーブルのデザインも建築家の矢板さんによるもの

左下/ダイニングからリビングを見る。床や壁は自然塗料で染めて空間にコントラストをつけた。自然塗料で染めても天竜杉の無垢材は呼吸し続ける



国内随一の美林を誇る天竜杉の力強さと優しさ。長い時を経て大切に育てられた木の住まいは、素足に心地良く、優しい木のぬくもりや芳香が五感を研ぎすませてくれる。そんな贅沢な無垢材と、現代の感性が融合した住宅「マルハチ・テネオ」。林業家と建築プロデューサー、建築家という、かつてないコラボレーションから、木の国・日本の新たな住宅モデルが登場した。

Photographs : Nacása & Partners
Text : Chika Komori

ADVERTISEMENT MARUHACHI

T e N e O

丸八製材所が提案する新しい暮らし

新しいモダンスタイルの住まい

豊かな暮らしとは、どんな住まいだろうか。自然素材に囲まれた心地良さ、使い勝手の良い機能的なデザイン、そして現代的なセンス。空間を構成するいずれもが、ことさらに主張しすぎることなく調和を保ち、住む人が主役として輝く住まい。家族が自然体でくつろげる「マルハチ・テネオ」は、これからの心豊かなライフスタイルを象徴する住宅モデルと言えよう。

林業家と建築プロデューサー、建築家という三者の、たぐいまれなコラボレーションから生まれた「マルハチ・テネオ」。そもそも「丁寧に育て上げた良質の天竜杉を使って、現代のスタイルに合う住宅を提案したい」という林業家の思いが、今回のプロジェクトの背景にある。

3代に渡って育てられた良質の天竜杉

静岡県浜松市にある丸八製材所は、昭和27年の創業以来、3代に渡って林業にかかわる。昔から日本三大美林と呼ばれる天竜川流域に、1000haもの山林を所有し、上質のスキヤヒノキを育ててきた。木目が詰まった天竜杉は、構造材だけでなく家具としても活用されるほど美しい。なかでも丸八製材所の均質に刻まれた木の年輪は下草を刈り、間伐を行うなど長年の間、手を緩めることなく最良の環境で育てられたことを証明している。

さらに丸八製材所の特徴は、林業家として山を育てるだけでなく木材加工や住宅施工までを手掛け、一本の木が家具や住宅になるまでトータルでかかわっていること。市場では安価な外材が主流となり、国産材が低迷するなか、山を放置する林業家も少なくないが、「樹齢の分だけ木は生き続ける」と、樹齢80年以上の天竜杉だけを伐り、大切に扱う。「気候風土を共にする国産材が日本の住宅にふさわしい」と、じっくりと時間をかけて自然乾燥・熟成させ、経年変化に耐える木材に仕上げている。

本物の素材と現代的なセンスが融合

そんな良質の木材を生かした新たな家づくりをサポートしたのが、建築プロデューサー研究所を主宰する大内昌弘さん。88年に設立して以来、住まい手と建築家、時には施工会社を繋ぎ、これまで200軒以上の住宅にかかわってきた。今回「素材の魅力と時代性を両立させた、新しい価値感を備えた住まい」を提案するため、大内さんは建築家の矢板久明さんを抜擢。本物にこだわる人々にふさわしい、自然素材の持ち味を生かしたモダンな住まいを目指した。そして「最良の素材を優秀なシェフに料理させれば最高の料理になる」という期待どおりに、日本を代表する天竜杉の無垢



上/10畳を超える主寝室。プライベート空間の豊かさが暮らしを賢沢に彩る 左上/約5mもの吹き抜けのあるキッチンとユーティリティ。一日中光の降り注ぐ快適な空間なら、家事がもっと楽しくなるに違いない 左下/ユーティリティの一角にあるデスクスペース。天板も天竜杉の無垢材を用い、手触りも抜群。自分の時間を大切にしたい女性のお気に入りの場所になりそう

(注1) 標準本体価格は算定床面積にて算出されたものです。消費税は別途要。

材が、木造の概念を越えたスタイリッシュな雰囲気と心地良さを兼ね備えた「マルハチ・テネオ」を完成させた。

吹き抜けを随所に設け、開放感に満ちた伸びやかな空間。壁や床には木肌を「染めた」無垢材を用いて、アクセントをつけながらも、その存在を溶け込ませている。30mm厚もの天竜杉の床材は、素足に優しいばかりか爽やかな芳香を漂わせ、冬場は木肌が目元を温める。さらに訪れる多くの人が驚きの声を上げるのがキッチンとユーティリティ。5mの吹き抜けの下、トップライトからの光が降り注ぐスペースは「キッチンに立つミセスが美しく見え、主役になれる家」というコンセプトのもと、限られたスペースにもかかわらず抜群の心地良さを醸し出している。

これまでの表層的なモデルハウスとは異なり、「マルハチ・テネオ」は具体的な生活を想定して設計されているのがポイント。キッチンの奥にはユーティリティを設けて収納スペースとしても活用。家事機能を集約することで効率化を図り、エントランスやリビングへと回遊できるスムーズな動線にも無駄がない。また主寝室とバスルーム

やクローゼットを一つにまとめたレイアウトは、ホテルのようなプライベート空間となる。そして、ゆったりとくつろげるバルコニーは、シンブルでノールな外観の印象を崩すことなく洗濯物が干せるように配慮されている。数々の住宅を手掛けてきたプロデューサーと建築家が熟考を重ねたモデルハウスは、美しく機能的に暮らす真の意味での合理性が凝縮されている。

今後は「マルハチ・テネオ」を基本プランに、土地の形状や家族構成、ライフスタイルに合わせてセミオーダー化。素材の調達から施工まで一貫して請け負う直営システムにより、グレードの高い住宅が坪47万円(注1)という標準本体価格も大きな魅力だ。まさにコストと機能性、良質な素材が融合した画期的な住宅モデルとして、今後、注目を集めるに違いない。

何より丁寧に育てられた天竜杉の無垢材に囲まれた暮らしは、この上なく心地良く賢沢なこと。丸八製材所では家を建てる前に実際、山と木を見る見学会や天竜杉の伐採体験などを催している。80年以上の時を経た大木を見上げるとき、その家に暮らす喜びが実感できることだろう。



リビングより見る。左手はダイニング & キッチン、右手は玄関ホール。天竜杉の無垢材に囲まれた住まいは、思わず裸足で歩きたくほどの肌触り。床のスギ板は30mm厚を誇り、柔らかな素材は足に負担を掛けることがない。床材をチャコール色に、壁は白く染めることで、木の存在感を空間に溶け込ませた

「TENE0」に関するお問い合わせ

TEL.0120-18-8486 <http://www.08teneo.com>

丸八製材所/静岡県浜松市幸3-5-26 <http://www.08seizai.co.jp>

※モデルハウスは丸八製材所・四ツ池ガーデンにあります。中部地方と関東エリアにて対応。その他の地域の方もご相談に応じます。

※「マルハチ・テネオ」は丸八製材所が保有する山で育った樹齢80年以上の天竜杉無垢材のみを使用するため、受注棟数に限りがあります。年間受注軒数は50棟限定で対応